

債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー


















南アフリカ



インドネシア



インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		3/9 （3/2との比較）	3/9 （3/2との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
カナダ 	AAA	2.27% （+0.07）	83.39円 （+1.58%）	+2.9% 2017年4Q	1.25%	中銀は政策金利の据え置きを決定。10-12月期の成長下振れは堅調な投資需要による輸入増加の影響と判断。米国の鉄鋼・アルミニウムの関税対象から外れるとの報道から、カナダドルは対円で上昇。国債利回りは上昇。	景況感指数や製造業売上高などの発表を予定。米国の通商政策の対象国からは外れたものの、NAFTA（北米自由貿易協定）を巡る先行き不透明感から、引き続き米国の政策には注意が必要。また、原油価格の推移にも注目。
	Aaa	 金利横ばい		 景気拡大	 利上げ局面		
ブラジル 	BB-	8.56% （▲0.10）	32.81円 （+0.95%）	+2.1% 2017年4Q	6.75%	IPCAインフレは市場予想を上回るも低水準。中銀はインフレが想定を下回って推移していると言及し、利下げ観測が上昇。判事がルラ元大統領の人身保護請求を却下したとの報道から、レアルは対円で上昇。国債利回りは低下。	小売売上高などの発表を予定。引き続き大統領選挙などに注意しつつも、足元のインフレ率低下や、緩やかな景気回復を背景に、追加利下げ期待への思惑が拡大しているため、債券・為替市場はレンジ内の推移を想定。
	Ba2	 金利低下		 景気回復	 利下げ局面		
メキシコ 	A-	7.44% （▲0.05）	5.74円 （+2.12%）	+1.5% 2017年4Q	7.50%	NAFTA再交渉第7回会合は特段進展なく終了。CPIは市場予想を下回り、中銀の追加利上げ観測が後退。米国による通商政策の対象から同国が外れるとの報道から、ペソは対円で上昇。国債利回りは低下。	鉱工業生産や製造業生産などの発表を予定。製造業生産は前年比でマイナスからプラスへ転換とすると予想。引き続きNAFTA再交渉や大統領選挙の先行き不透明感もあり、ペソの上値は重い展開を想定。
	A3	 金利上昇		 景気安定	 利上げ局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。
















※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		3/9 （3/2との比較）	3/9 （3/2との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAA	2.78% （+0.05）	83.82円 （+2.22%）	+2.4% 2017年4Q	1.50%	中銀は政策金利の据え置きを決定。10-12月期のGDP（国内総生産）は市場予想を下回るも緩やかな景気拡大は今後も続く想定。良好な貿易収支の結果を受けて、豪ドルは対円で上昇。国債利回りは上昇。	企業景況感や企業信頼感などの発表を予定。国内の安定的な経済から良好な結果が示されると予想。13日発表の米国CPIで、米国のインフレ圧力が強まれば、豪ドルは売られる展開を想定。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 利上げ局面		
ニュージーランド 	AA+	2.94% （+0.02）	77.75円 （+1.59%）	+2.7% 2017年3Q	1.75%	クレジットカード利用額が伸び悩むなど個人消費の停滞が示唆されるも、住宅価格が堅調な伸びとなり製造業活動が大幅に上昇するなど経済指標は総じてやや強め。ニュージーランドドルは対円で上昇。国債利回りは小幅上昇。	インフレ率が安定しているため、利上げ観測が高まるには景気が加速する必要。発表される10-12月期GDPは前期から伸び率が高まると予想。製造業PMIなどの指標にも注目。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.94% （▲0.00）	13.71円 （+0.85%）	+1.4% 2017年4Q	0.50%	鉱工業生産は高い伸びを記録した前月の反動もあり、減少となるも、中銀による地域別調査では今後半年の売上高見通しが一段と上昇するなど景気は順調に拡大。ノルウェークローネは対円で上昇。国債利回りはほぼ横ばい。	政策金利などの発表を予定。発表されたインフレ率が小幅上昇したものの、中銀の想定よりも低い水準で推移しており、利上げが急がれる環境ではなく、政策金利は据え置かれる見込み。
	Aaa	 金利横ばい		 景気拡大	 利上げ局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。
- ※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		3/9 (3/2との比較) 今後の見通し (※4)	3/9 (3/2との比較) 今後の見通し (※5)	前年比 (※3) 景気方向性 (※6)	先週末 方向性 (※7)		
南アフリカ 	BB+	7.40% (▲0.14)	9.04円 (+1.95%)	+1.5% 2017年4Q	6.75%	財務相は10月に発表する中期予算計画の中で、経済成長を上方修正する可能性があることを示唆。10-12月期のGDPが市場予想を上回ったことや良好な企業景況感が好感され、ランドは対円で上昇。国債利回りは低下。	製造業生産や鉱物生産量などの発表を予定。経済指標に改善がみられるものの、政治上の注目イベントを終え、市場の期待感が一巡する中、目先の材料に乏しいことなどから債券・為替市場は上値の重い展開を予想。
	Baa3	 金利横ばい	 金利低下	 景気安定	 利下げ局面		
インドネシア 	BBB-	6.32% (+0.31)	0.78円 (+0.77%)	+5.2% 2017年4Q	4.25%	消費者信頼感指数が前月から低下したほか、外貨準備高も減少。海外投資家の売買フローが引き続き純流出となったことなどを背景に、国債利回りは上昇。ルピアは対円で上昇。	貿易統計などの発表を予定。足元の海外投資家の売買フローが流出方向に偏る中、13日の国債入札において、投資家のインドネシア国債の需要度合いに注目。国債の需要が強まれば、流出フローが弱まると想定。
	Baa3	 金利低下	 金利横ばい	 景気拡大	 利下げ局面		
インド 	BBB-	7.53% (▲0.04)	1.64円 (+1.01%)	+7.2% 2017年4Q	6.00%	政府は、格付機関と会合を開き、格上げに向けた努力を続ける意向を改めて示唆。サービス業PMIは前月比で低下し、6か月ぶりの低水準となったことを受け、国債利回りは低下。ルピアは対円で上昇。	CPIや貿易収支、鉱工業生産などの発表を予定。インド国鉄が総額10兆ルピーに上る高速鉄道計画を4月に公表する見通しで、予定ルートや資金調達方法などが明らかにされると見られており、債券・為替市場に注意が必要。
	Baa2	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気回復	 据え置き局面		

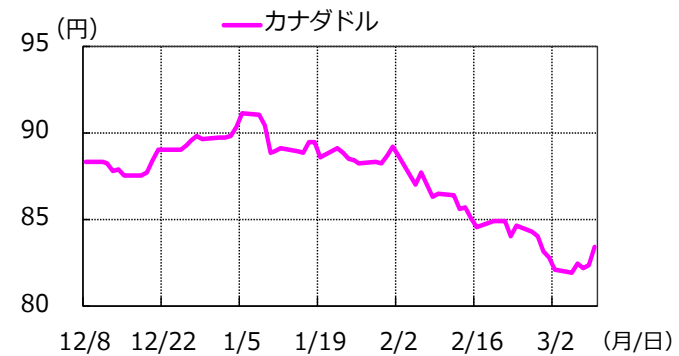
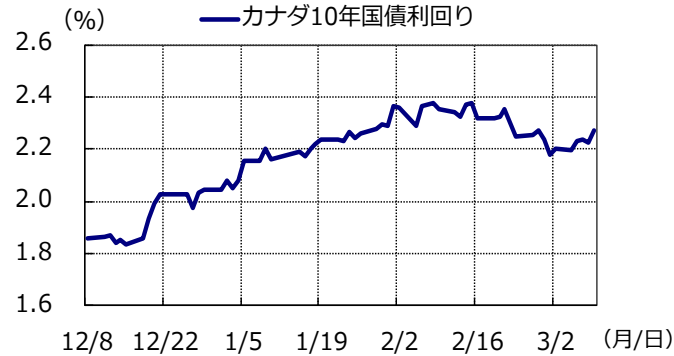
（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる本国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 国債利回りを表示（南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1か月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。
- ※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

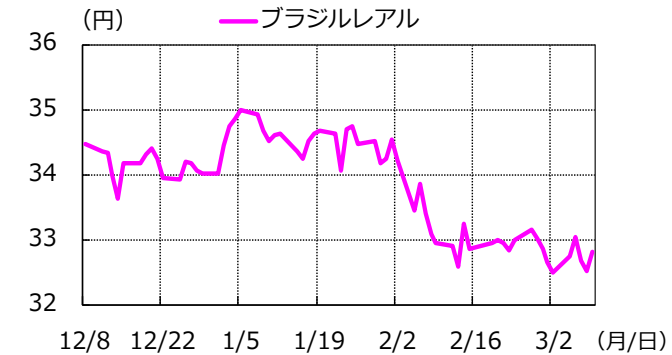
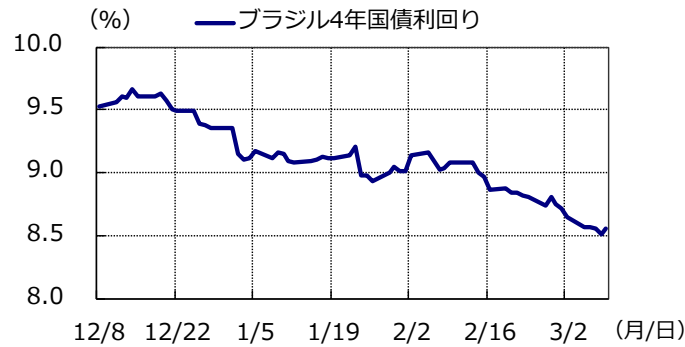
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/12/8～2018/3/9

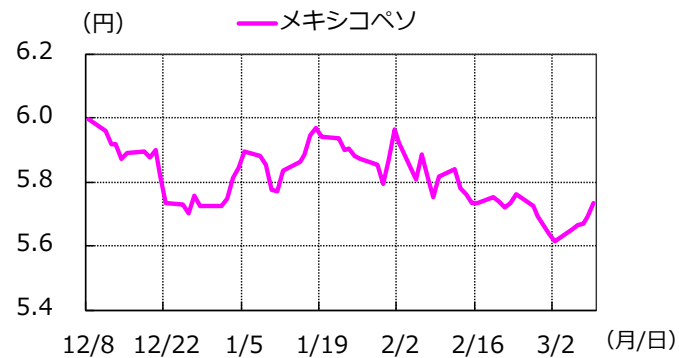
カナダ



ブラジル



メキシコ

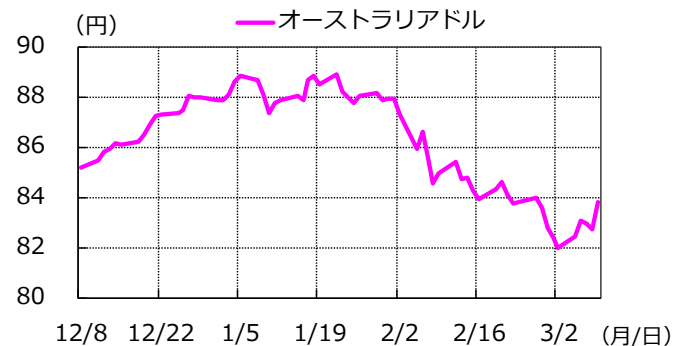
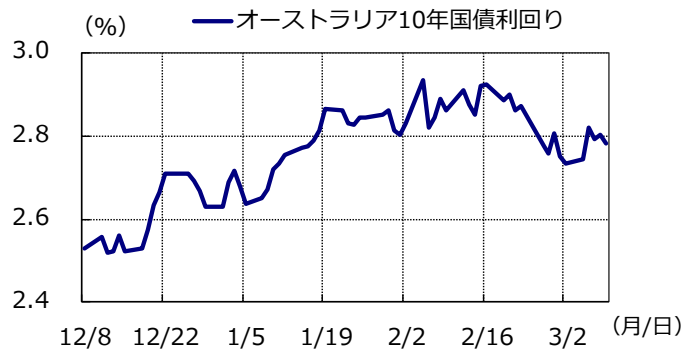


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

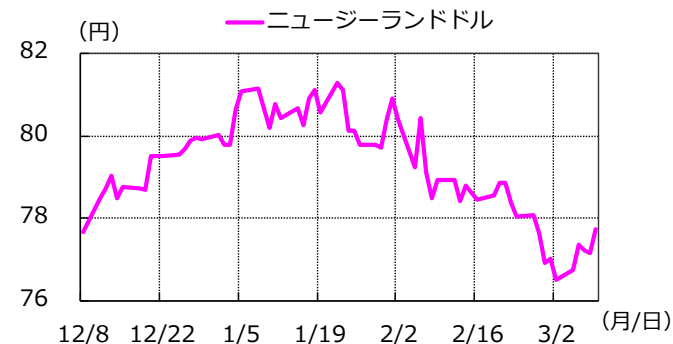
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/12/8～2018/3/9

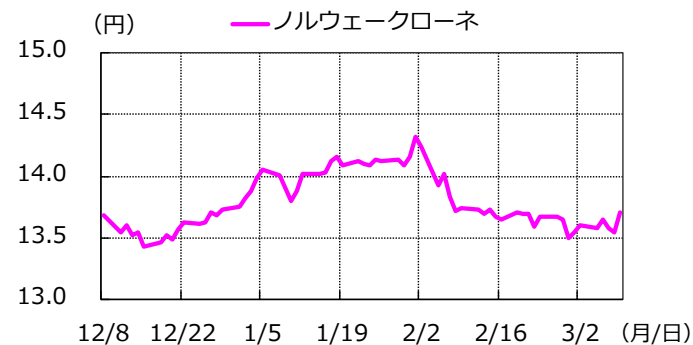
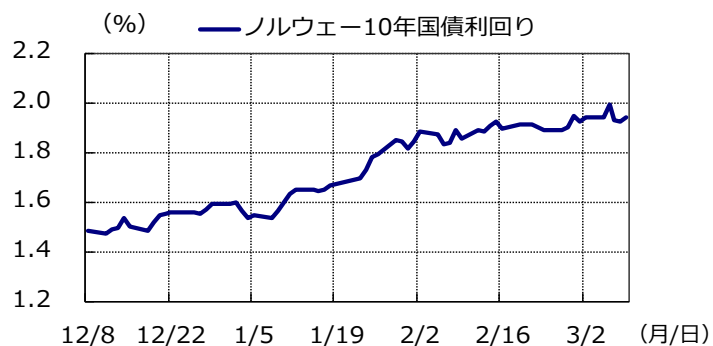
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

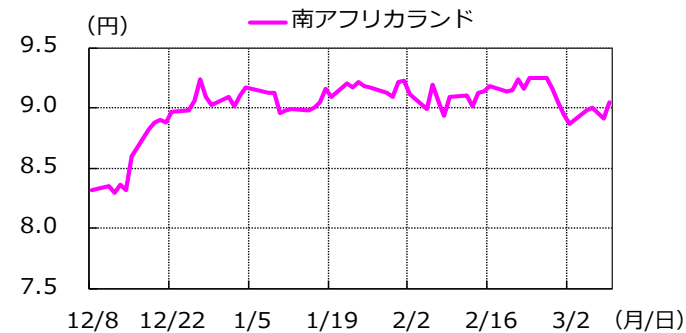
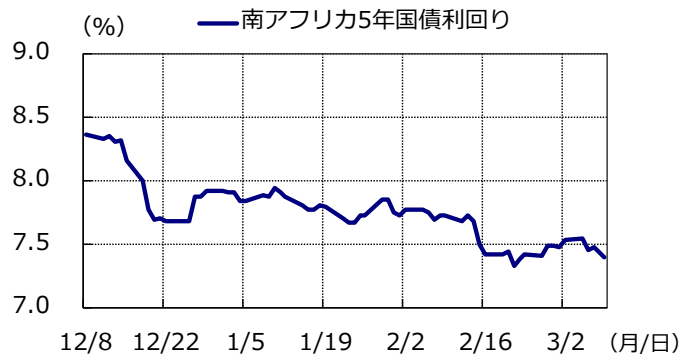


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

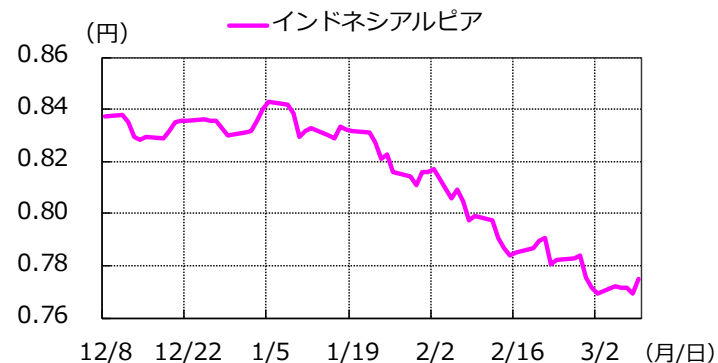
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/12/8～2018/3/9

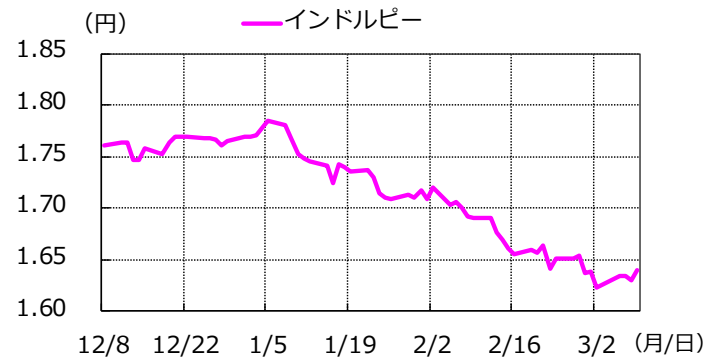
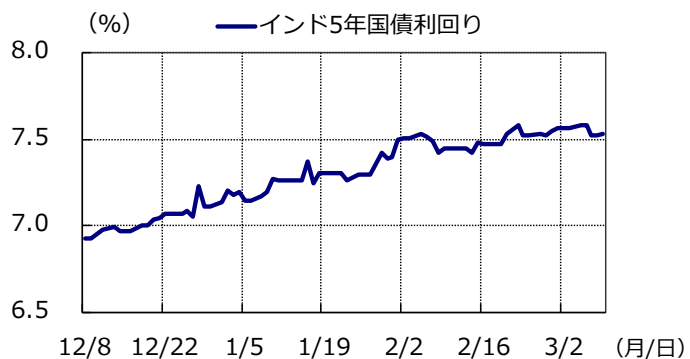
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。